

2019 全国高齢者集会あいさつ

日本退職者連合
会長 人見 一夫

皆さん、こんにちは。

2019 全国高齢者集会に全国から結集された皆さん大変ご苦勞様です。

皆さんの中央・地方におけるご活躍に心から敬意を表します。

またご多忙のなか、本集会にご出席賜りました連合神津会長はじめ、ご来賓の皆様に御礼申し上げます。皆様には日頃より物心両面にわたりご指導・ご支援を頂いていることに、この場をかりて感謝申し上げます。ありがとうございます。

今年も、九州北部集中豪雨により大きな被害が発生しました。昨年は大阪北部地震、西日本豪雨災害、北海道胆振東部地震災害により大きな被害が発生しました。多くの方々が亡くなられました。亡くなられた皆様のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

東日本大震災や、熊本地震、九州北部豪雨で被災された全ての皆さんの一日も早い復旧・復興により生活再建されるよう祈念します。一連の災害に対し、政府が一丸となって必要な対策を取るよう強く求めたいと思います。

また、福島原発事故は未だに事故原因の究明がされない中、放射能による健康問題や汚染水対策、核燃料の取り出しなど見通しが立っていない状況にあります。この様な中で被災された皆様は帰りたくても帰れない、帰る見通しもたない状況におかれています。原発事故の悲惨な現状を直視し、被災者に寄り添い、一日も早い帰還に向け事故原因の究明と復興の取り組みを強化しなければなりません。

さて、今、日本は人口減少・超少子高齢社会になりました。「高齢者が更に高齢化する」という現状です。2025 年には、団塊の世代が 75 才以上になり、2040 年には 65 才以上の高齢者が 3921 万人に達し、人口の 35.3%を占めます。

2018 年度の社会保障給付費は 120 兆円にのびました。2040 年には 190 兆円が必要との推計がされています。この現実にとのように対応すのか、早急な検討が求められています。

政府は現在 2020 年度予算編成を進めています。各府省の概算要求は 105 兆円規模に上りました。安倍政権は、米トランプ大統領との約束、国際環境の変化を理由に、秋田、山口に配備するイージスアシュアなどの兵器を大量に購入することで防衛費を大幅に伸ばしています。

一方、国民生活に欠かせない年金、医療、介護、子育ての予算を抑制し、社会保障給付費を抑え込もうとしています。国民生活第一の予算編成にはなっていません。

今年は、5年に一度の年金財源検証の年でした。8月27日に検証結果が公表され、高齢化が進行する中で、所得代替率の低下が明らかになりました。加入者拡大など年金制度の改革は喫緊の課題です。

日本退職者連合は、持続可能な社会保障制度の構築をめざして政策制度要求を決定し、政府をはじめ各政党にも要請し、要求の実現をめざしています。私たちは年金・医療・介護等の社会保障制度を持続可能な制度として後世に残していくよう取り組んでいます。財源の確保、制度の改革なくして制度の維持はできません。

そのためには良質な雇用、賃金の引上げ、労働分配率の引上げ、所得再分配機能の強化が不可欠です。税制の改革も必要です。社会保障制度は支え合いの制度です。この制度を再構築し、安心の社会保障制度とするため連合と現退一致の闘いをすすめます。

日本退職者連合は、この間安倍一強政治に反対し政治の流れを変えるために連合と現退一致の取り組みを進めてきました。

7月21日投票の第25回参議院議員選挙では、十分な成果を勝ち取ることはできませんでした。自公は過半数を獲得しましたが、憲法改正に必要な三分の二以上の議席を与えることは阻止しました。

10月4日から臨時国会が開催されますが、安倍首相は自民党役員人事と内閣改造を行い、憲法改悪に向けて突き進んでいく体制を作り上げました。

各種世論調査を見ると、政治に国民が第一に求めている政策課題は、社会保障の充実です。決して憲法改正ではありません。安倍政権による憲法改悪に反対です。森友、加計問題にみられるように嘘と隠蔽と忖度の政治を行い、行政を歪めることは許されません。

これからも、国民生活第一の政治を求めて政治の流れを変えるために取り組みを進めて参ります。

2020年4月には、国連でNPT再検討会議が開催されます。連合は、核兵器廃絶と核兵器禁止条約の早期批准を求めて1000万署名を取り組んでおります。日本退職者連合はこの1000万署名活動に積極的に参画し、150万筆の署名の集約を目指しています。核兵器のない世界をめざして、この署名活動が成功するよう全国の仲間の取り組みをお願いします。

最後になりますが、持続可能な社会保障制度の構築と政策・制度要求の実現は日本退職者連合の最重要課題です。

退職者連合は高齢者が、そして全ての国民が心豊かに住み慣れた地域で、健康で生き生きと暮らすことが出来る社会をめざします。

そのために、今日お集まりの皆さんと力を合わせ、経済優勢の政治から国民生活第一の政治に変えるため全力で闘いましょう。

以上、実行委員会を代表しての挨拶とします。
ありがとうございました。